

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 2月 20日

事業所名 こども発達支援ルーム ピッピーノ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3			現状でできる限りの工夫を行い、適切な環境設定を行っていく。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	1		利用者の実態によって変化するが児童2人に対して1人程度の配置を行っている。職員間の動きを綿密に打合せするなどして、不足が生じないよう工夫する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	2	1	常勤職員には週報を実施している。	来年度は設定した目標を全ての職員に周知し、業務改善に取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	1	1		職員間で共有し、改善案を出し合っているのもので、それを基に日々の業務で取り組んでいく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		3		自己評価の結果はホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2			第三者による外部評価は行っていないが、広く意見を求めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			外部講師を招いたり、自社内で勉強をしたりするなど、定期的に職員研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	2			日々の支援からアセスメントに必要な情報を取っているが、より一層アセスメント力を向上させ職員間での共通認識を図っていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		特性シートを活用してアセスメントを取っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	1	担当を中心に話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	2	1	利用者の発達段階や興味関心に基づき、工夫して計画を立てている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3		平日及び休日・長期休暇では支援の目的や目標を変えて活動を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	1	1	個々の発達課題に応じた自立課題を取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	1	2		常勤職員内では打ち合わせを行っているが、非常勤職員へ確実に周知する体制を整えていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2	1	当日に打合せの時間を確保することは難しいが、各自で記録を取ったり翌日に情報共有をしたりしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1	1	システムを活用して支援の記録を取っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	1	1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	1	1	できるだけ偏りがないように心がけて支援を行っている。		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2		1			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3				基本的には保護者を通じて行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2					
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1		1		該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			2			連携していないが、機会があれば活用していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				3		現時点では交流の機会の確保は難しいが、検討していきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			1		1	来年度は参加の機会を確保していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		1			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			1		1	保護者会でペアトレ勉強会を実施した。来年度は参加者が増えるよう工夫していきたい。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2					
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1			2		今年度も保護者会を実施したが、平日の午前中ということもあり、放課後等デイサービスの保護者の参加者はいなかった。多くの保護者が参加し、連携や交流ができるよう工夫していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2		1			
	35	個人情報に十分注意している	3					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2		1	地域住民との交流が図れる機会を検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1			今年度は3月に実施予定。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	1	1		該当者なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2			該当者なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	3			ヒヤリハット事例が出た場合は全体に周知しているが事例が増えてきたので事例集を作成していく。